

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	緑地保全推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	基金繰入金	その他	市債	一般財源
令和4年度	3,369,963	889,210		879,753		1,601,000	0
補助事業	2,528,903	889,210		465,693		1,174,000	0
単独事業	841,060	0	0	414,060		427,000	0
令和3年度	3,317,793	874,950		935,843		1,507,000	0
増△減	52,170	14,260	0	△ 56,090	0	94,000	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
				事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
事業費	3,646,110	3,428,856	3,794,380	3,355,793	-	-	-	-	-	-	-	
市債+一般財源	1,018,000	1,749,000	1,640,000	1,507,000	-	-	-	-	-	-	-	
決算	3,646,110	3,652,809	2,338,780									
市債+一般財源	1,018,000	1,749,000	1,270,000									

事業概要	市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区や市民の森等の指定地で、法に基づく買入れ申し出や、不測の事態により所有者から買入れ申し出があった場合に対応します。								
事業開始年度	昭和44年								
根拠法令・方針決裁等	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、緑の環境をつくり育てる条例、横浜市民の森設置事業実施要綱／横浜市緑地保存事業実施要綱／横浜市源流の森保存事業実施要綱								
事業目的・効果 (必要性)	みどりアップ計画[2019-2023]に基づき、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐため、5か年で300haの指定を目指して、特別緑地保全地区を始めとする緑地保全制度への指定を積極的に進めます。また、特別緑地保全地区等の指定地で、不測の事態等が発生し、本市への買入れ申し出があった場合には、樹林地の買取りに対応します。								
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023] (平成30年11月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 緑被率 (令和元年度調査結果)								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
緑地保全制度の 新規指定面積	単位	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-	-
	ha	実績	47.2	28.9					
緑地保全制度の 買取り等面積	単位	想定	23.0	23.0	22.6	22.5	22.5	-	-
	ha	実績	19.2	18.9					
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	年間を通じて、緑地保全制度の指定を進めるとともに、買入れ申し出に対応								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	3,369,963	3,317,793	52,170
	細事業合計	3,369,963	3,317,793	52,170	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	関口 昇	宇野 絃子	野本 武頌

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	良好な森の育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	635,824				635,824		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	604,388				604,388		0
増△減	31,436	0	0	0	31,436	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	643,597	550,000	558,650	656,773	-	-
市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
事業費	544,123	482,282	602,200			
市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	みどりアップ計画により保全した森を次世代に引き継いでいくため、森に期待される多様な機能が発揮できるよう良好な森づくりを進めます。								
事業開始年度	平成21年度								
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例/横浜市民の森設置事業実施要綱/ふれあいの樹林設置事業実施要綱/都市公園法/横浜市公園条例								
事業目的・効果 (必要性)	<p>都市における緑には、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など多くの機能や役割があります。これらを次世代に引き継いでいくためには、これらの機能や役割に配慮した良好な森づくりが求められます。このため、地域の特性を踏まえ、愛護会等と連携して保全管理計画を策定し、森づくりガイドラインを活用した維持管理を進めます。</p> <p>また、市内に残る樹林地の多くは民有地であり、土地所有者にとって維持管理作業が大きな負担となっています。このため、土地所有者が樹林地をできるだけ持ち続けられるよう支援することが必要です。そこで、緑地保全制度により指定した樹林地で土地所有者が行う維持管理への支援を行うことで樹林地を保全します。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理面積（樹林地） ＜実績推移＞元年度812.6ha、2年度828ha、3年度847.3ha（見込）、4年度869.9ha（見込） ・緑地保全制度の新規指定面積 ＜実績推移＞元年度47.2ha、2年度28.9ha、3年度60ha（見込）、4年度60ha（見込） ・緑地保全制度の買取等面積 ＜実績推移＞元年度19.2ha、2年度18.9ha、3年度22.6ha（見込）、4年度22.6ha（見込） 								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
森づくりガイド ライン等を活用 した維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	-	-	
	か所	実績	175	200					
保全管理計画 の策定	単位	目標	推進	推進	推進	推進	-	-	
	か所	実績	3	1					
指定した樹林地 における維持管 理の支援	単位	目標	100	100	130	150	100	-	-
	件	実績	122	162					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度：事業開始 ・平成26年度：【公園】保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理事業開始 ・令和4年度 <ul style="list-style-type: none"> ①森の多様な機能に着目した森づくりの推進：通年 ②指定した樹林地における維持管理の支援：募集4～9月、審査7月～11月、事業実施・検査9月～2月 								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森の多様な機能に着目した森づくりの推進	461,824	454,638	7,186	管理面積の増
	②	指定した樹林地における維持管理の支援	174,000	149,750	24,250	申請件数の増
細事業合計			635,824	604,388	31,436	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	清水 恭子	竹内 章裕

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	1	項
事業名称	森を育む人材の育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	25,930	0			25,930		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	27,200				27,200		0
増△減	△ 1,270	0	0	0	△ 1,270	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	16,620	25,000	25,000	25,000	-	-
	市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決 算	事業費	11,206	20,167	25,801			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	協働による森づくり活動を希望するボランティアの登録、担い手の育成及び活動支援を実施します。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市協働による森づくり要綱							
事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的】 本事業では、市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。また、森づくりボランティアを対象とした森づくり体験会を開催し、森に関わる「人」の裾野を広げることを目指します。</p> <p>【効果(必要性)】 (1) 市民の協働により、横浜の森を次世代に引き継ぐことができます。 (2) 市民協働により、良好な森を育成することができます。</p>							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査(2017年7月～8月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
森づくを担う 人材の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	-
		実績	推進	推進				
森づくり活動 団体への支援	単位	目標	30	30	30	30	30	-
	団体	実績	35	37				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度：事業開始 平成26年度：対象地を公園内樹林地へ拡張 令和元年度：森づくり活動団体への支援に専門家の派遣を導入 令和3年度：森づくり体験会に年間を通じた体験作業を行う継続編を導入 令和4～7年度：研修・団体活動の継続 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森づくりを担う人材の育成	13,930	16,250	▲ 2,320	動画作成が完了したことによる減
	②	森づくり活動団体への支援	12,000	10,950	1,050	道具の貸出しの増加
細事業合計			25,930	27,200	▲ 1,270	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 絃子	草野 泰隆

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	みどりアップ推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-1 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1 款	1 項	1 目	
事業名称	市民が森に関わるきっかけづくり事業					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	19,510				19,510		0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	23,800				23,800		0
増△減	△ 4,290	0	0	0	△ 4,290	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	24,700	26,000	26,000	19,410	-	-
	市債+一般財源	0	0	0	0	-	-
決算	事業費	17,128	14,746	9,823			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや講座の開催により、市民が森に関わるきっかけを提供します。							
事業開始年度	平成26年度							
根拠法令・方針決裁等	市民が森に関わるきっかけづくり事業事務取扱要領							
事業目的・効果 (必要性)	<p>事業目的 普段森に関わることの少ない市民へ森の楽しみ方や魅力を伝え、横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、講座やイベント等を実施し、森に関わるきっかけを提供します。</p> <p>効果(必要性) (1) 森の楽しみづくり 各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり、環境を学ぶ機会にもなる講座・イベントや広報の取組を展開することで、普段森に関わることの少ない市民へ森の魅力を伝え、森に関わる市民の裾野を広げます。</p> <p>(2) 森に関する情報発信 市民の森、ふれあいの樹林のガイドマップ等を作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進し、市民満足度の向上に繋がります。</p>							
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査(2017年7月～8月) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
イベント等の 実施	単位	目標	36	36	36	36	-	-
	回	実績	75	34				
ガイドマップ を作成した樹 林地の数	単位	目標	1	1	1	1	-	-
	箇所	実績	1	1				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成26年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	森の楽しみづくり	16,310	18,800	▲ 2,490	実績に合わせた減
	②	森に関する情報発信	3,200	5,000	▲ 1,800	実績に合わせた減
細事業合計			19,510	23,800	▲ 4,290	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋 鉄朗	山崎 絃子	新井 紀子